

## 発達が気になるお子さんの相談窓口

小学校編

### 特別支援教育主任(担当)

各学校では特別支援教育主任(担当)を指名しています。特別な教育的支援を必要とする児童生徒に適切な支援を行うために、学校内の支援体制を整えるとともに、外部の教育・医療・福祉等の関係機関との連絡調整及び保護者に対する学校の窓口の役割を担っています。

### LD等専門員

発達の気になるお子さんへの支援等について、相談助言を行っています。各専門員は相談担当区域が分かれています。お住まいの区域の専門員の連絡先については県教育委員会のホームページからご確認いただけます。各教育局、または特別支援教育課にお問い合わせください。

【県教育委員会ホームページ】

<http://www.pref.tottori.lg.jp/10381.htm>

お問い合わせ先	電話番号	FAX番号
● 東部教育局	0857-20-3672	0857-20-3673
● 中部教育局	0858-23-3251	0858-23-5203
● 西部教育局	0859-31-9773	0859-35-2096
● 特別支援教育課	0857-26-7598	0857-26-8101
LD等専門員ホットライン	(月~金 9:00 ~ 17:00)	
● 県内共通		0857-26-7984

### 発達障がい教育拠点

東部、中部、西部に発達障がい教育拠点があり相談等をお受けしています。

お問い合わせ先	電話番号	FAX番号
● 東部: 県立白兎養護学校	0857-59-0585	0857-59-1237
● 中部: 県立倉吉養護学校	0858-28-3500	0858-28-1144
● 西部: 県立米子養護学校	0859-27-3411	0859-27-3420

### ペアレントメンターによる電話相談

発達障がいのある子をもつ保護者が相談相手となり、子どもへのかかわり方などを助言します。

※ペアレントメンターは専門家ではありません。  
同じ親としての視点を大切にしています。

お問い合わせ先	電話番号
● ペアレントメンター鳥取	0857-30-0670

【受付時間】平日10:00~14:00

より詳しく知りたい方はこちら

鳥取県 発達障がいハンドブック

～シロウクマ先生と学ぶ 発達障がいのあれこれ～

幼稚園、保育園、小中学校、各相談窓口に置いています。また、下記ホームページに掲載しています。

●発行/お問い合わせ

鳥取県子ども家庭部 子ども発達支援課

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220 TEL.0857-26-7865/FAX.0857-26-8136 [www.pref.tottori.lg.jp/kodomohattatu/](http://www.pref.tottori.lg.jp/kodomohattatu/)



R7.11更新

## 鳥取県 発達障がい啓発リーフレット

あなたはご存じ？

# 発達障がい 知ろうクマ

発達障がいをわかりやすく解説。  
まずは“知る”ことからはじめましょう。

一緒に学んで  
まずは“知る”クマ

小学校編

発達障がいについて、  
「知ろう」「気づこう」「支援しよう」

発行/鳥取県

鳥取県発達障がい啓発推進キャラクター  
シロウクマ先生

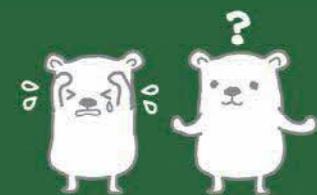
# ご存じですか？「発達障がい」

発達障がいは、生まれつきの脳の発達特性であり、脳機能の発達にアンバランスさがあるのが特徴です。発達の仕方は個々に違いますが、周囲が理解して日々の育ちを応援することで、成長していきます。

## 1限目

### 子どもたちの様子でこんなことはありませんか？

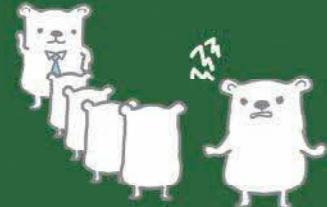
冗談が通じにくく思つたことを何でも言ってしまう。



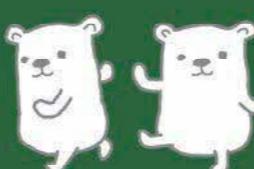
忘れ物が多く物をなくしやすい。集中力にムラがあり気が散りやすい。



順番を待つことが難しい。



手先が不器用だったり走り方がぎこちない。



友達関係を作るのが苦手で休憩時間に一人で過ごすことが多い。



手足をそわそわ動かしたり椅子の上でもじもじしてしまう。



文を読むのが極端に遅かったり読み書きの誤りが多い。計算が極端に苦手。



大きな音やざわざわした人混みが苦手。



気になるときは相談してね

こうしたことは、子どもの性格だったり、発達の過程で見られることもあります。しかし、**程度が強いと、発達障がいの症状**である場合があります。

しつけや育て方が原因ではありません

## 2限目

説明動画はこちら



知的な遅れを伴うこともあります

### 自閉スペクトラム症(ASD)

- コミュニケーションの苦手さ
- 対人関係・社会性の問題
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 感覚の過敏さ、または鈍感さ
- 不器用さ

注)ASD・ADHD・SLDには、明確な境界線がありません。症状のあらわれ方は、年齢や状況により変化したり、重複することがあります。

### 注意欠如・多動症(ADHD)

- 不注意(集中できない、ぼーっとしている)
- 多動性および衝動性(じっとしていられない、考えるよりも先に動く)

### 限局性学習症(SLD)

- 「読む」「書く」「計算する」等の能力が、全般的な知的発達に比べて極端に苦手

苦手と思われることも、見方を変えると長所にもなります。たとえば…発達障がいのある子どもは、常識にとらわれないユニークな発想をしたり、活動力を新しいことに挑戦するエネルギーに変えることで素晴らしい力を発揮します。また、学習面においても、自分にあった得意なやり方で学ぶことで、力を伸ばすことができます。

※次のように言う場合もあります。  
◎自閉スペクトラム症⇒自閉症、アスペルガー症候群を含む広汎性発達障がい(PDD)  
◎注意欠如多動症⇒注意欠陥多動性障がい(AD/HD)  
◎限局性学習症⇒学習障がい(LD)

※この他、トウレット症候群や吃音(症)、発達性協調運動障がいなども発達障がいに含まれます。

まずは子どもの気持ちを聞いてみよう

## わたしたちにできること

### 3限目

子どもの健やかな成長には、発達障がいの有無にかかわらず、どの子でも発達段階に応じたさまざまな支援が必要です。その子なりの自立した豊かな社会生活が送れるよう、子どもの発達特性を理解して適切にサポートしていくことが大切です。

#### ●心の育ちを支えましょう

子どもの好きなことや苦手なことを知り、好きなことを生かして「やってみたい」「できるんだ」という気持ちを育てます。

呻いたり 惡鳴ったり  
追いつめたりして  
叱るのは逆効果です

#### ●わかりやすい対応をしましょう

- 目で見てわかる方法で写真や絵・文字を使って説明する
- 具体的に伝える「ちょっと待って」ではなく「5分待って」
- 肯定的に伝える「走らない」よりも→「歩こう」
- 本人が納得できる説明をする



対応を工夫することで、見通しがもて、その子が安心できる環境を作ることが出来ます。

ご家族や身近な人の気づきが大切です。

子どもの様子について相談したい、発達障がいについて聞いてみたいと感じたら、先生やスクールカウンセラーなどに相談してみましょう。(相談機関も活用しましょう)

一人で悩んでないで相談してね

相談窓口は裏をご覧ください

特性は重なり合って  
いるんだね

